

2024 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|-------|----------|-----------------|----------------|--------|-----------|---------------|
| 学 科 | 臨床工学技士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 生理学Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 403 |
| 担当教員 | 新井篤史ほか | 実務経験と その関連資格 | 臨床工学技士として病院で勤務 | | | |

《授業科目における学習内容》

人体を構成する臓器・器官の機能と役割を学び、あわせて各器官の生体における機能を学んでいく。
体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、生体の正常な構造から正常な機能への結びつけにができるようにする。

《成績評価の方法と基準》

提出物(J-webでの課題を含む)提出(30%)
定期試験(中間試験を含む)での結果(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院
【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」 医学書院

《授業外における学習方法》

副読本における「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」を活用し、臓器の機能と役割を理解する

《履修に当たっての留意点》

出来る限り講義での理解を高めるために講義中に解らないことがあった場合講義終了時もしくは放課後を使用してわからないことをもいこさないような勉強法を身に着ける

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------------------|-------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------|
| 第1回 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨代謝と骨機能について理解し説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 骨格(骨) | | |
| 第2回 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨格筋の機能について理解し説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 骨格(骨格筋) | | |
| 第3回 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経支配下の平滑筋・心筋の機能について理解し説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 骨格(平滑筋・心筋) | | |
| 第4回 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 消化酵素の分泌機能を理解し説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 消化器系の機能①(消化酵素の分泌機能) | | |
| 第5回 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 栄養素の吸収機能について理解し説明できる | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 消化器系の機能②(吸収) | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|-----------------------------|--|-----------------------------|-----------------------|
| 第6回 | 講義を通じての到達目標 | 肝臓・胆嚢・膵臓の機能を理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 消化器系の機能③(肝・胆・膵) | | | |
| 第7回 | 講義を通じての到達目標 | 視床下部・下垂体の機能を理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 内分泌系①(視床下部・下垂体) | | | |
| 第8回 | 講義を通じての到達目標 | 甲状腺ホルモン・カルシウム代謝について理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 内分泌系②(甲状腺・副甲状腺) | | | |
| 第9回 | 講義を通じての到達目標 | 副腎皮質ホルモン・糖代謝について理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 内分泌系③(膵臓・副腎・その他) | | | |
| 第10回 | 講義を通じての到達目標 | 脳と中枢神経の機能について理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経(中枢神経) | | | |
| 第11回 | 講義を通じての到達目標 | 末梢神経と各臓器との関連について理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系(末梢神経系) | | | |
| 第12回 | 講義を通じての到達目標 | 聴覚・聴覚について理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系(感覚系①:視覚系・聴覚系) | | | |
| 第13回 | 講義を通じての到達目標 | 平衡感覚・科学感覚系・皮膚の機能を理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 神経系(感覚系②:平衡感覚・科学感覚系・皮膚) | | | |
| 第14回 | 講義を通じての到達目標 | 男性・女性生殖器の機能を理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 生殖・発生① | | | |
| 第15回 | 講義を通じての到達目標 | 成長ホルモンについて理解し説明できる | | 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 | ・講義のノートまとめ (図も記載すること) |
| | 各コマにおける授業予定 | 生殖・発生② | | | |